



子どもタイムズ

2016
年度

2016.12.01 平成28年 35号

発行：多可町教育委員会
TEL：0795-32-2816

〒679-1114 多可郡多可町中区岸上224-17
E-mail：kodomo@town.taka.lg.jp



表紙写真 杉原谷小学校



おもな内容

- ・全国学力・学習状況調査の結果
- ・ピックアップ学校園
- ・あったかトピックス



平成28年度 多可町の 児童生徒の学力・学習状況



知識 A
全国の平均正答率と
大きな差は見られない

活用 B
全国の平均正答率と
大きな差は見られない



◇文脈に即して漢字を「正しく読む」問題では、全国平均と大きな差はありません。おおむね力がついてきています。それに比べて「正しく書く」力に課題がある生徒が多いです。地道な漢字の書き取り練習を怠らないようにしましょう。
◇「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域では、全国平均と大きな差はありません。これからも積極的に新聞を読んだり読書に励むなど、初見の文章を読む機会を増やしましょう。

◆「仕事の合間を縫う」「白羽の矢が立つ」などの慣用的表現の知識・理解に課題があります。意味がわからない慣用的表現に出会ったら、必ず辞書を引いて意味を確認しましょう。
◆知識問題Aに比べて、活用問題Bの正答率が低いです。根拠を明確にして自分の考えを具体的に書いたり、課題を決めてそれに応じた情報の収集を考えて書くといった力が弱いようです。学校のワークだけでなく、初見の文章から情報を読み取り、答えを記述していく問題に数多くあたっていきましょう。



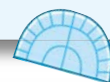
知識 A
全国の平均正答率と
大きな差は見られない

活用 B
全国の平均正答率と
大きな差は見られない



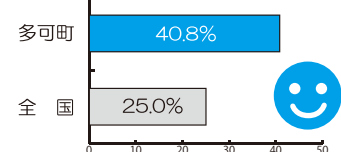
◇「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域ともに、全国平均と大きな差は見られません。大半の生徒が着実に力をつけてきています。

◆「自然数の意味を問う問題」など数学的概念を問う問題が弱いようです。授業で公式やままりを習うときに、丸暗記せずにその意味を理解していきましょう。
◆全領域とも、知識Aと比べると、活用Bの力が弱い傾向にあります。基本的な問題を解く力は、着実についてきています。さらに、資料の特徴や傾向を的確に捉え、理由を数学的な考え方をを用いて判断したり説明したりする力が必要です。学校のワーク以外にも、応用問題に数多く取り組んで力をつけていきましょう。

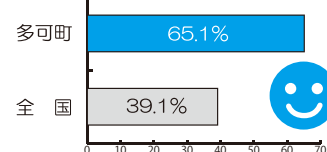


3 小中学校生活質問用紙より

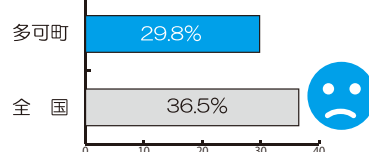
《小学校》 授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか（先生に尋ねる）



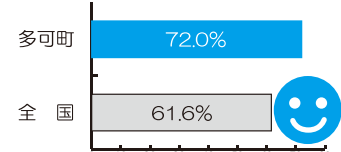
今住んでいる地域の行事に参加していますか



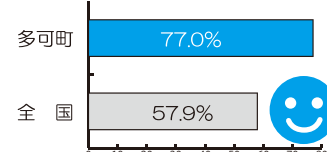
普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか（30分以上）



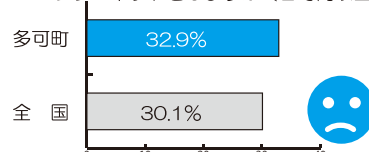
《中学校》 学校の規則を守っていますか



学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことはありますか



普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間携帯やスマホで通話、メール、インターネットを読みますか（2時間以上）



現状と課題

- 小学生では、国語が知識A・活用Bともに全国の平均正答率をやや下回っています。また、小・中学生ともに国語、算数（数学）の両方で知識Aより活用Bが弱い傾向にあります。
- 家庭学習に関しては、小・中学生とも家庭学習の習慣が身につけている割合は高いですが、全国平均に比べて長時間勉強する割合が低い傾向にあります。
- 小・中学生とも、基本的な生活習慣が身につけている児童生徒が多いようです。しかし、中学生では約3分の1の生徒が平日に2時間以上の時間をSNSに費やしています。家庭での時間の使い方に課題があります。
- 小・中学生とも、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」「学校の規則を守っている」などの設問で肯定的な回答をしている割合が高く、多くの児童生徒が学校生活を楽しみ、規範意識や道徳心が順調に育っていることが伺われます。
- 小学生では、平日に30分以上読書する習慣がある児童が、全国に比べるとやや少ないようです。新聞を読んだり積極的に学校図書館や多可町図書館を利用して読書習慣を身につけ、国語力を伸ばす必要があります。

1 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

		国 語				算数・数学			
		知識A		活用B		知識A		活用B	
		平均正答率	全国比較	平均正答率	全国比較	平均正答率	全国比較	平均正答率	全国比較
小学校 6年生	多可町	67	-6	51	-7	74	-4	42	-5
	兵庫県	73		58		78		47	
	全 国	73		58		78		47	
中学校 3年生	多可町	73	-3	62	-5	63	+1	41	-3
	兵庫県	76		66		66		46	
	全 国	76		67		62		44	

※A問題は、知識・理解（基礎基本）、B問題は活用問題です。

2 全国の状態を基準とした多可町の状況

同じ正答率	全国の平均正答率と同程度
±5%以内	全国の平均正答率と大きな差は見られない
±6～9%	全国の平均正答率よりやや上（下）回る
±10%以上	全国の平均正答率より上（下）回る

平成28年度 多可町の
児童生徒の学力・学習状況

本年4月19日（火）に小学校6年生と中学校3年生を対象として実施しました「全国学力・学習状況調査」結果に関して、文部科学省の集計・検証を踏まえて、多可町の児童生徒の学力・学習状況の考察をしましたので、その概要を報告いたします。



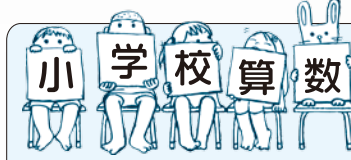
知識 A
全国の平均正答率を
やや下回っている

活用 B
全国の平均正答率を
やや下回っている



◇「読むこと」の領域の正答率は、全国平均と大きな差は見られません。これからも、新聞を読んだり読書をしたりする時間をどんどん増やしていきましょう。

- ◆「漢字を正しく読むこと」については、おおむね正答率は70%以上であり、大半の児童ができています。これに対して「漢字を正しく書くこと」に課題があります。日々の漢字の書き取り練習など、繰り返し学習に丁寧に取り組み、力をつけていきましょう。
- ◆「ローマ字の読み書き」が苦手な児童が多いようです。いろいろな言葉をローマ字で書けるように練習しましょう。
- ◆「書くこと」の領域の正答率は、全国平均をやや下回っています。文章を正確に読み取り、適切な言葉を用いて表現する力が弱いです。学校で習う文章だけでなく、積極的に初見の文章問題を解く練習をしていきましょう。



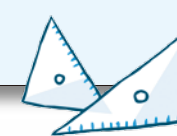
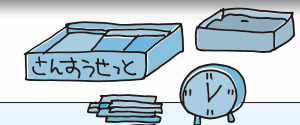
知識 A
全国の平均正答率と
大きな差は見られない

活用 B
全国の平均正答率と
大きな差は見られない



◇「数と計算」の領域では、繰り返し学習の成果でおおむね定着しています。◇「図形」の領域についても、全国平均と大きな差は見られません。大半の児童が力をつけてきています。

- ◆「割合」などの「数量関係」の領域の知識・理解に課題があります。もう一度「割合」について、教科書を使って復習しましょう。
- ◆「割合の問題」や「与えられた式の意味を解釈する問題」など、数学的な基礎概念が理解できていないと解けない問題の正答率が低いです。授業で公式やままりを習うとき、そのわけを理解するようにしましょう。
- ◆示された情報を、数学的な考え方をもちに、解釈したり整理したりしながら把握していく力が弱いです。また、それらを筋道を立てて文章表現することが苦手な児童が多いようです。計算を中心としたドリル学習にとどまらず、さらに文章問題や資料問題などの応用問題に積極的に取り組み、応用力を磨きましょう。





あさかこども園

運動会

あさかこども園では、9月24日にアスパルアリーナで運動会を開催しました。0・1歳は親子でのふれあい、2・3歳は、親子のふれあいに加えて、かわいく頑張る姿を見せよう。

4・5歳児は集団・個人それぞれに目標を持って、挑戦するのがあさかこども園の運動会です。

お盆休み明け、8月下旬から、合同演技のお遊戯、個人種目の跳び箱・鉄棒の練習を開始しました。

最初は残暑が厳しく、戸外での練習にはなかなか力が入らなかった子どもたちでしたが、日に日に目標を達成することの嬉しさ、先生や小さい子から応援をもらう喜びを感じ、一生懸命に練習ができるようになってきました。時には「できない」「とくじけそうになった事もありましたが、クラスの友達から励ましてもらいながら、絶対に諦めない！と根気強く頑張りました。

そしていよいよ迎えた本番。何もかも一回勝負。たくさんの方に見てもらった緊張と嬉しさが入り混じる中、「今日まで頑張った！」という事が

自信に変わり、「かけっこ」「跳び箱・鉄棒」「遊戯」皆堂々と演技する事ができました。

運動会演技の最後のプログラム4・5歳児遊戯「未来を信じて出航だ！ゆめのタネ」ではアンコールのリクエストをもらいました。

閉会式でのキラキラ輝いている目を見て、子どもたちを信じ、目標を持って困難な事にも挑戦する大切さを感じました。心も体もたくましくなった子どもたち。

次はどんな姿へ変わっていくのか楽しみです。



高齢者との関わり

敬老会に参加して

9月は敬老一色。特に多可町は敬老の日発祥の地として多彩な催しが開かれましたが、楽久園会でも9月20日に敬老会を実施し、ちびっこラン

ドも参加しました。



手づくりプレゼントを渡したり、歌や合奏、手づくり遊具での遊びをしたりなど、大勢の前で表現し、緊張の連続でしたが、優しい眼差しに包まれて、共に過ごした時間は、子どもたちにとってもきつと思いついたことと残るひと時になったことと思います。



おじいちゃん、おばあちゃんいつまでもお元気でね！



4組の親子が参加

子育てふれあいセンターとの交流



きと活動してました。特に喜んでいただけたのは「アンパンマンを探せ！」で、室内のいたるところに隠れているキャラクターを探し出すもので、どの子も夢中になっていました。

帰り際に子育てふれあいセンターの先生から、「いい取組をされていてますね」との声をかけていただきました。月2回、園開放もしています。何時でも来て下さいね。



また一緒にあそぼうね！

ちびっこランドふれあい

キッズランドやちよ

〈楽しかった学年活動〉

親子が交流する大切さ

3・5歳児は、今年も親子活動を行いました。この活動は、保護者の皆様から「親子活動をやる」という積極的な意見が多く、学級委員さんを中心に企画、運営されました。それぞれの年齢に合った内容で、親子が交流する大切さを感じる楽しいひと時でした。

【3歳児】『ミニ運動会』

初めてキッズランドに通う幼児を持つ親も多く、まずは親同士が知り合い、仲良くなること、子どもと親が楽しく過ごせることを目的とし、キッズランドやちよの遊戯室でミニ運動会を行いました。親子で行う演技が中心で、保護者の方々も子どもたちも終始笑顔いっぱいミニ運動会となりました。

【4歳児】『なかやちよの森公園へ』

9月3日(土)4歳児の親子92名は、なかやちよの森公園に行きました。当初は山登りも予定していましたが、熊出没情報もあり、山登りは行えませんでした。しかし、天気にも恵まれ、広場でスタンプラリーをしたり、下駄ぼつくりを作ったりして楽しくすごしました。親子で作った棒焼きパンは、焼き立てとても美味しかったです。



たです。

【5歳児】『職業体験』

5歳児の親子活動は、多可町商工会青年部の皆様にお世話になり、様々な職業体験をしました。「大工さん」「織物屋さん」「ケーキ屋さん」「花屋さん」など10種の仕事の中から5つの仕事を選び体験しました。自分で決めたということもあって、目をキラキラさせながら、様々な仕事を体験していました。仕事を終えた後は、お母さんたちが作ってくださったカレーを食べ、その後は、お父さんたちが準備してくださった花火を見ました。将来は、お父さんの仕事に興味を持ち後継ぎもあ

◆校訓◆

明るく仲良く生き生きと

北はりま特別支援学校は、小学部・中学部・高等部・のびく訪問学級・きずな訪問学級・在宅訪問学級から成り立っています。全校児童生徒151名が、学校・医療福祉センター・自宅で、それぞれ学習に励んでいます。のびく訪問学級の生徒は4人。中学部1人と高等部3人です。自分の言葉で伝えることは苦手だけれど、うれしいことや楽しいことには、素敵な笑顔で応えてくれます。また、呼名にはスイッチを押して「はい」と返事をします。

音楽が大好きで、ウクレレ伴奏で、季節の歌をみんなで一緒に歌い、ポップスや今流行っている歌を聞きながら、マラカスや鈴で自由にリズムをとって、楽しい時間を過ごしています。毎年10月のふれあいまつりでの鼓笛演奏は、とっても楽しみです。わくわくしています。

春と秋には余暇村公園へハイキングに出かけます。道沿いの花畑や色づいた柿を見て、「秋だね！いい季節だね。」と笑顔がいっぱいあふれます。

北はりま特別支援学校



みんな、つながったよ。さあ、大きく揺れてみよう。ゆーらゆーら



歩いている姿を見かけられました。毎年、訪問学級と在宅の児童生徒を本校に招いて、交流を行っています。医療福祉センターや自宅から外に出ていく機会が少ない中で、スクーリングとして、有意義なひと時を過ごしています。歌やゲーム・手遊び・お話などを通して、心の触れ合いを大切に、お互いを知り合い認め合いながら、和やかにちよと刺激も感じられる時間を過ごしています。



子連協の活動を紹介

「子連協」とは、子ども会育成連絡協議会の略で、地域の子ども会活動を応援するボランティア団体です。様々な活動を通して、子ども会同士の親睦と相互の協調を図り、会の健全な発展を目指して活動を行っています。現在、ほとんどの集落の子ども会（63団体）が子連協に加入し、様々な活動に参加しています。本年度、すでに実施済みの事業も含めて主な活動をご紹介します。

○野外活動部

7月3日（日）県立嬉野台生涯教育センターにおいて、HAP体験を実施しました。対象は小学4年から6年生で、計20名が参加。



自分の限界に挑戦！



○オセロ・将棋大会

7月24日（日）中央公民館で開催しました。オセロ大会には、低学年の部30名・高学年の部11名。将棋大会には、低学年の部8名・高学年の部10名の参加がありました。



○子ども会議部

12月18日（日）ベルディーホールにて、北播磨地区の子ども会議を開催予定です。

テーマは「考えよう。いざというときの自分へゲームを通じた防災への備え」

対象は、小学5・6年生と中学生です。

○小学球技部

1月29日（日）ガルテン八千代グラウンドにて、少年少女ミニサッカー大会を開催予定です。

例年、多くのチームが参加し、熱戦が繰り広げられる小学生を対象とした大会です。

多可郡中学校新人体育大会結果

中学生になれば部活は

何をしようかな

【野球】

優勝…八千代中学校

準優勝…中町中学校

【バレーボール】

優勝…中町中学校

準優勝…加美中学校

【ソフトテニス(男子)】

優勝…加美中学校

準優勝…中町中学校

【ソフトテニス(女子)】

優勝…八千代中学校

準優勝…加美中学校

【ソフトボール】

優勝…加美中学校

準優勝…八千代・中町中学校

【サッカー】

優勝…加美中学校

準優勝…八千代中学校



ご意見・ご感想をお寄せください。

（問い合わせ先）多可町教育委員会こども未来課 TEL：0795-32-2385 FAX：0795-32-4318